

### 教員についての基本情報

写真

教員名	島袋 純
担当教科と分野	社会科、公民科、政治学分野
研究分野	沖縄の政治行政、自己決定権
担当授業	政治学概論、国際関係概論、地方自治論、地域経営論、行政学 政治学実習、市民性教育実習、沖縄の政治
授業についての一言	すべての授業において沖縄の実例を交えて授業づくりを実践。
研究室ホームページ	なし



### 研究の内容

第一に沖縄振興の政治行政である。沖縄県は沖縄振興特別措置法の元に、他府県とは異なる中央政府の統治体制が整えられている。沖縄担当大臣の元に内閣府沖縄担当部局が、大きな権限を持つ沖縄振興体制である。その沖縄の統治システムがどのような構造的特質を持ち、どのような影響を沖縄の自治に与えてきたのかを批判的解明することを研究テーマとしている。

第二に、自己決定権と自治政府の研究である。欧州の既存の国家の近代主権国家建設期には、かつては別の独立国であったが併合あるいは実質的に併合された地域がある。そのような地域は、1980年代以降自らの自己決定権を主張し、基本法や憲法を制定して自治政府を構築している。そのような地域をモデルとして沖縄の自治の可能性を究明する。

第三に、このような政府の構築には、市民として政治と政府を主体的に構築していく力が必要でありそのための教育が欠かせない。したがって、市民的な力を育成する教育の在り方を研究している。

### これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

「那覇市の協働政策の現状と課題」2019年

「地方議会の総合計画における政策サイクル」2019年

「那覇都市圏の交通政策の現状と課題－総合的な交通政策に向けて－」2020年

「地域づくりへの子どもの意見表明と参加を通じた主権者教育の実践」2021年

### 研究のキーワード

沖縄振興体制、沖縄の自治、高率補助、基地の見返り、沖縄振興一括交付金、自己決定権、主権者教育、

### 研究室の様子

島袋ゼミでは、週一回の演習において4年次の卒論について順番に報告してもらい、3年次4年次全員の参加の元にその報告に関する質問や意見などを出し合って、話し合いにより卒論完成を目指してもらう。3年次は、それとは別に通年で政治学実習を履修し、共同研究を行うこととしている。3年次ゼミ生全員の話し合いの元に共通のテーマを決定し、そのテーマに関する先行研究を調べ、関連するキーパーソンに聞き取り調査を行い、論文としてまとめていく。ゼミは学生の主体性の元に、研究テーマを自ら決めていき、自ら研究計画を作り、自ら調査を行うものであり、話し合いの中でその精度を高めていくものであり、それを通して自らとゼミ生相互の成長を促進していくというコンセプトのもとに学生主体の運営がなされている。